

News Release

【報道関係各位】

2010年6月16日

セント・ジュード・メディカル株式会社

セント・ジュード・メディカル、新しいDF4接続システム を採用した不整脈・心不全治療デバイスを発売

～DF4接続システムを採用し、植込み手術の負担を軽減、
患者様のニーズに対応した治療オプションを提供～

セント・ジュード・メディカル株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:ウィリアム・フィリップス)は、心臓へ電氣的刺激を送る除細動リードと装置の接続を簡略化したDF4接続システムを採用したPromote™ Plus除細動機能付き心臓再同期治療器(CRT-D)およびCurrent™ Plus植込み型除細動器(ICD)の発売を発表しました。

新しいDF4接続システムは、ISO規格27186:2010に適合しています。従来の接続システムは、3つの接続コネクタと4本の固定ネジを必要としていましたが、上記の製品では、1つの接続部と1本の固定ネジで除細動リードとの接続が可能となりました。新しいDF4接続システムより植込みの手技が簡略化されると同時に、胸部皮下ポケット内のリードとデバイスの容積が従来の接続システムに比べて小さくなるため、皮下ポケット作成時や植込み後においても、植込み部位に与える圧迫等の影響を軽減できる可能性があります。

DF4接続システムには、DF4コネクタが取り付けられたDurata™(デュラータ)除細動リードが含まれています。以前発表したDurataシリーズのリードと同様、DF4コネクタ付きDurataリードは柔らかなシリコンチップとOptim™(オプティム)絶縁体を使用しています。オプティム絶縁体は、耐摩耗性と高耐久性を備えた絶縁材で、植込みを簡便にする柔軟性と操作性の良さを特長としています。

「これらの新しいデバイスは効率的な植込み手技を行うことができ、植込み時間の短縮と合併症のリスクを軽減します。また、カスタマイズ可能な機能を備えているため、個々の患者様固有のニーズに合わせた治療を行うことができます。」と順天堂大学浦安病院、循環器内科教授、中里 祐二医師は述べています。

Current Plus ICDおよびPromote Plus CRT-Dは、医師が特定の患者様のニーズに合わせてカスタマイズすることができる以下の機能を備えています。

■ QuickOpt™ タイミングサイクル最適化機能

プログラマを用いたAVおよびVVタイミング最適化オプションで、セント・ジュード・メディカル独自の機能です。医師はこれらのデバイスのタイミングサイクルを短時間で設定することが可能な為、症状の変化に応じて頻回に最適化が可能です。

■ DeFT Response™ テクノロジー

除細動閾値軽減オプション。除細動の閾値が高い、もしくは変動する患者様のニーズにデバイスが対応できるよう設計されています。

■ VIP™・心室自己心拍優先機能

心室自己心拍を最大限に温存しつつ、間欠的なAVブロック出現時には1拍も心室イベントを欠落させることなく心室ペーシングをバックアップとして確保するアルゴリズムを提供します。

■Bi-Vトリガーモード

心不全の患者様に心房細動が発生した際等に心室センシングの状態になり、両室ペーシング機能が作用しない場合があります。この場合にBi-Vトリガーモードを使用することにより一定の条件のもとで両室ペーシング状態を実施いたします。

正確な診断を行い、心房レートが高い患者様を適切に管理できるようにするため、Promote Plus CRT-DとCurrent Plus ICDには心房頻脈と心房細動(AT/AF)検知機能が搭載されています。この機能は、プログラムされた値を超える心房レートが長時間にわたり継続すると医師に通知するよう設計されています。さらに、音声警報より効果的であることが臨床的に証明されている振動警報を搭載しており、患者様へ振動による通知を行えるようにデバイスをプログラムすることもできます。

Promote Plus CRT-DとCurrent Plus ICDはセント・ジュード・メディカルのMerlin.net patient care network (在宅患者様用ワイヤレス遠隔モニタリングシステム)に対応しています。このインターネットベースのシステムはデバイスの遠隔モニタリングを行うもので、セキュリティに関してISO認証を取得しています。また、マーリンペイシエントケアシステム(Merlin™ Patient Care System)は、Promote Plus CRT-DとCurrent Plus ICDのいずれもサポートしております。マーリンペイシエントケアシステムは、植込み時およびフォローアップのための通院の際にデバイスを迅速かつ効果的にプログラムするためのシステムで、日本語もサポートしています。

ICDは、心臓突然死に至る可能性のある致死性の不整脈(心室頻拍および心室細動)を治療するために胸部に植え込む小さなデバイスです。ICDは絶縁されたワイヤまたはリードを介してデバイスから患者様の心臓へ命を守るための電気刺激を送ります。

CRT(Cardiac Resynchronization Therapy)とは、ICDまたはペースメーカーの電気刺激によって、心不全の患者様にしばしばみられる心室の非同期拍動を再同期させる治療(心臓再同期療法)です。これまでの研究から、CRTによって心不全の患者様のQOL(Quality of Life: 生活の質)が向上することが分かっています。

セント・ジュード・メディカル(米国)について

セント・ジュード・メディカルは世界中の心臓病、神経系および慢性疼痛の患者様の治療に当たる医療従事者の方々が優れたコントロールを手にすることができるよう、医療技術とサービスを開発しています。セント・ジュード・メディカルはリスクを可能な限り軽減すること、そして全ての患者様の治療の成功に貢献することを通じて、医療の発展に全力で取り組みます。セント・ジュード・メディカルは、「カーディアック リズムマネジメント」、「心房細動」、「心臓外科」、「カーディオロジー」、および「ニューロモデュレーション(神経系)」の5つの分野に注力しており、米国ミネソタ州セントポールに本社を置き、世界中に約14,000人のスタッフを擁しています。セント・ジュード・メディカルの詳細については<http://www.sjm.com/>をご覧ください。

【本件に関する報道関係者のお問合せ先】

セント・ジュード・メディカル株式会社
セールス・マーケティング統括室
PR マネージャー
山田 秀之
TEL 03-3423-6471 FAX 03-3423-1378